

子ども会活動の手引き

子ども会活動を支える

子ども会育成会員の皆様に向けて

～子ども会の役員になられた時に～

子ども会役員だからこそ、お子さんと一緒に楽しんで！ 子ども会役員だからこそ、地域の人と一緒に楽しんで！

「役員になると、何をしないといけないの？ いやな噂も聞いたけど…」

役員を引き受けた時に、そんなことを思われた方もいると思います。しかし、子ども会役員の特徴は、お子さんとの距離が近いことにあります。そのため、役員だからこそ楽しめる部分もたくさんあります。

「前の役員さんから、〇〇と引き継いだから私もやらないと…」と思わなくてOK！

去年の子とは違うので、全く同じことをやろうとすると無理が生じることがあります。自分の目の前にいる子どもたちの笑顔を考えながら、子ども会活動を進めればいいのです。子どもが笑顔で活動をする姿は誰が見てもうれしいもの。役員みんなでよりよい子ども会になる活動を進めていきましょう。

役員になったからといって、肩肘を張る必要は全くありません。自分のできることを、自分ができる範囲内でやっていきましょう。



子ども会役員としてのねらいって？

「小学校では児童会」「中学校では生徒会」というように、子どもたちが集まる場所にはコミュニティがあります。では、子どもたちが住む「地域」のコミュニティは何になるのでしょうか。それが「子ども会」です。

そのため、役員さんのねらいは「地域の子もたちが笑顔で安全に活動を支えること」です。つまり、「自ら楽しむ会を作ろうとする子どもたちを支えること」が子ども会活動では大切なのです。もし、前年までの活動で、ねらいの達成と関係が無いと判断すれば、やめてしまってもいいのです。そして、自分自身に余裕があれば新しいことに挑戦していけばいいのです。



子ども会活動はどう決めていくの？

育成者に関係することは自分たちで決めても構いませんが、「子どもに直接関わることは、子どものリーダーたちが決定していくこと」とし、それを支える立場に回りましょう。それによって、きっと、子どもたちのエネルギーも高まり、見ている役員さんも楽しい気持ちになります。

育成者としての案を作ったら、子どもに関係する部分を子どものリーダーと相談（※5,6年のインリーダーなど）しましょう。例えば、「日にちや時間など大まかなことは、育成者が決める」「具体的な活動内容や活動場所は、子どものリーダーが決める」とし、「こんなことができるよ！」という例示をいくつかしてあげると、子どもたちはそこから発展して考えていくことができるのです。

最初は手をかけながらだんだん手を放していくことで、子どもたちが、自らよりよい活動を目指して取り組むようになっていきます。そうして成長する姿を間近で見られることが子ども会役員の醍醐味です。



子ども会活動の手引き

子ども会活動を支える

子ども会育成会員の皆様に向けて

～子ども会とは～

子ども会とは

子ども会とは、**地域を基盤とした仲間と遊びや体験などの活動を行う中で、その子やその子が参加している集団のより望ましい成長を意図したコミュニティ活動**です。

遊びを通して、健全な仲間づくりをすすめ、心身の成長発達に大切な活動を促進助長することがねらいです。家庭・学校はもとより地域の諸機関や各種団体と強い連携をもちながら、活動を進めていく重要な教育的活動です。

<社団法人全国子ども会連合会 HP を参考にしています>



子ども会で大切にしたいこと

◇子どもたちは地域の宝。地域みんなで育てる

- ・自分の子も他人の子も大切な存在です。**いっぱいほめて、時には叱って…と声をかけ続けましょう。**無関心は、子どもが離れていきます。

◇主役は子ども。子どもが主体性を発揮できる場を

- ・子どもが自ら意志決定する場面をつくる**ことが、責任感と充実感につながります。**うまくいかないことも貴重な経験になります。子ども会のリーダーに活躍の場をつくり、自信につなぎましょう。

◇異年齢の仲間との遊びや体験をたっぷりと

- ・異年齢の仲間と過ごす楽しい時間は、**年上の子への憧れや年下の子への思いやりの心を育みます。**遊びや体験活動の中で、憧れや思いやりの心につながる**子どもたちの姿を認め励ましましょう。**



子ども会の組織と役割

【全国→岐阜県→岐阜地区→岐阜市→各地域→各町内】と組織はあり、それぞれに役割があります。

※詳しくは、次のページの図をご覧ください。

子ども会用語集

- 単位子ども会 : 近所の子どもたちが集まる最小単位 (町内班等) の組織
- 地域子ども会 : 単位子ども会を地域 (小学校区等) でひとまとめた組織
- 子ども会活動 : 単位子ども会、地域子ども会の子どもたちが異年齢で活動する活動
- インリーダー研修会 : 地域子ども会のリーダーを育成する研修会です。
- 集団指導者講習会 : 地域の子ども会育成者が顔を合わせて学ぶ講習会です。
(子ども会の組織や、指導、安全の学習や子どもよさについて情報交換をします)
- 育成者 : 子どもをもつ親 (父母) はもちろんのこと、地域に住むすべての大人をいいます。
- 育成会 : 地域の育成者が力を合わせて子ども会活動を支援するための組織です。
- 指導部 : 育成会の中で、主に子どもたちの活動の指導を中心に行っていく部会です。
- 安全対策部 : 育成会の中で、主に子どもたちの安全への配慮を中心と考えていく部会です。
- 広報部 : 育成会の中で、主に子どもたちの頑張りやよさを記録・発信していく部会です。

<参考図>子ども会の組織と役割とは？

【子ども会活動】は

☆子どもたちにとって

→社会参加の第一歩

☆保護者にとって

→地域連携の第一歩

- 全国子ども会連合会(全子連)
- 東海北陸地区子ども会連絡協議会
- 岐阜県子ども会育成連合会(県子連)
- 岐阜地区子ども会育成協議会

岐阜市子ども会育成連合会(市子連)

第1ブロック子ども会 育成会(計10地域)	第2ブロック子ども会 育成会(計11地域)	第3ブロック子ども会 育成会(計8地域)	第4ブロック子ども会 育成会(計10地域)	第5ブロック子ども会 育成会(計9地域)
長良川、山田、常盤、岩手、野田、常盤、山田、常盤、岩手、野田	長良川、山田、常盤、岩手、野田、常盤、山田、常盤、岩手、野田	長良川、山田、常盤、岩手、野田、常盤、山田、常盤、岩手、野田	長良川、山田、常盤、岩手、野田、常盤、山田、常盤、岩手、野田	長良川、山田、常盤、岩手、野田、常盤、山田、常盤、岩手、野田

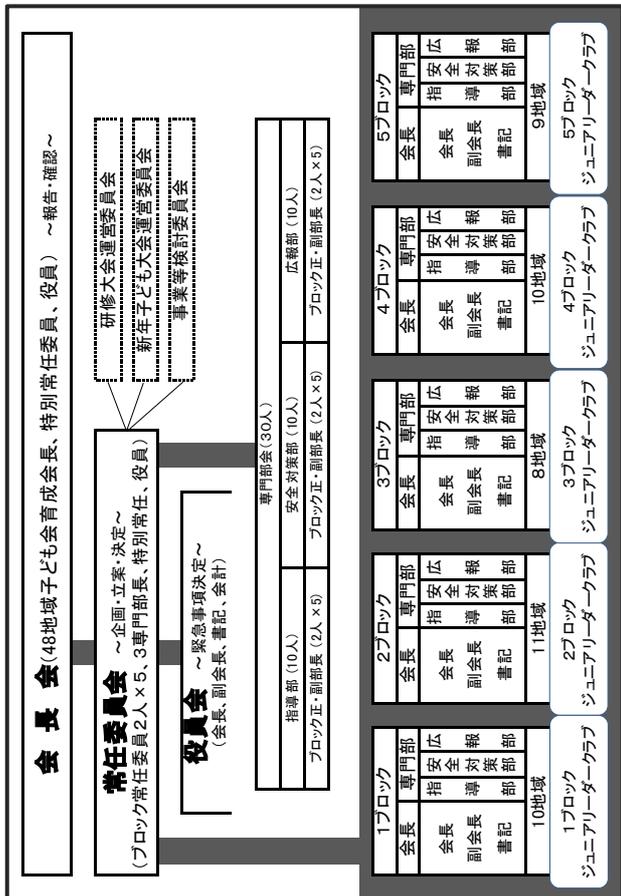
【年少指導者】
・ジュニアリーダー
(中学生、高校生)

【インリーダー】
子ども会委員のリーダー

【年少指導者】
・シニアリーダー
(大学生、高校生、専門学校生、社会人)



【成人指導者】 育成者(保護者・地域の大人)・ボランティア講師・市内青少年会館 等



<育成会長>地域内外と協力して充実した子ども会を運営する

- 子ども会活動の充実
 - (1) 「遊び」の重要性をふまえた子ども会活動の推進
 - (2) 集団、自然、文化との関わりで行う体験活動の促進
 - (3) 学習、スポーツ、奉仕、レクリエーション、防災等の地域活動の推進
 - (4) 主体的な活動による子ども会の運営
 - (5) 地域における社会参加活動の推進
- 育成者・指導者組織の充実
 - (1) 指導部、安全対策部、広報部への助言・指導・連携の中心
 - (2) 対外的な活動(地域行事)の企画・実施と関係機関との連携
 - (3) 指導の充実
 - (1) インリーダー研修会の内容の充実及び指導
 - (2) 「地域子どもフェスティバル」等の実施指導及び他団体との連携
 - (3) 「岐阜市子ども大会」「研修大会」「地区大会」への助言
- 年少指導者の育成
 - (1) 年少指導者(ジュニア・シニア・インリーダー)が活動する場の設定
- 子ども会の情報交換、関係団体との連絡・調整
 - (1) 各年少会5種の社会教育指導員(市民会議、ジュニアリーダー指導員)
 - (2) 学校の地域活動指導員(インリーダーや地域活動担当の小中学校の先生)
 - (3) 市やブロック、他地域の子ども会役員
 - (4) 各青少年会館、関係団体(自治会、青少年市民会議等)との連携

【各部会共通のネットワーク(つながり)づくり】

- (1) 青少年会館5種の社会教育指導員(市民会議、ジュニアリーダー指導員)
- (2) 学校の地域活動指導員(インリーダーや地域活動担当の小中学校の先生)
- (3) 市やブロック、他地域の子ども会役員
- (4) 各青少年会館、関係団体(自治会、青少年市民会議等)との連携

<指導部長>子どもに意欲と運かせ、自信を付ける

- 子ども会育成指導者としての知識・技術を高める 講習・研修大会への参加及び地域での開催
 - (1) 全国子ども会安全共済会の加入促進
 - (2) 全国子ども会安全共済会の内容、利用方法の伝達
 - (3) 行事の実施前・中・後の安全点検
 - (4) 全国子ども会安全共済会の手続き
- 子ども会安全対策の知識、技術を高める講習、研修等への参加
 - (1) 全国子ども会安全共済会の研修
 - (2) 救急講習会への参加と子ども会への普及
 - (3) K Y T (危険予知トレーニング)の研修と活用
 - (4) 研修大会への参加
- 子ども会の情報交換、関係団体との連絡・調整
 - (1) 子ども会の情報交換、関係団体との連絡・調整

<安全対策部長>安全に配慮し、大切な生命を守る

- 子ども会活動の安全対策に関すること
 - (1) 全国子ども会安全共済会の加入促進
 - (2) 全国子ども会安全共済会の内容、利用方法の伝達
 - (3) 行事の実施前・中・後の安全点検
 - (4) 全国子ども会安全共済会の手続き
- 子ども会安全対策の知識、技術を高める講習、研修等への参加
 - (1) 全国子ども会安全共済会の研修
 - (2) 救急講習会への参加と子ども会への普及
 - (3) K Y T (危険予知トレーニング)の研修と活用
 - (4) 研修大会への参加
- 子ども会の情報交換、関係団体との連絡・調整
 - (1) 子ども会の情報交換、関係団体との連絡・調整

<広報部長>よさを風付けてPRする

- 子ども会活動の普及・振興に関すること
 - (1) 子ども会行事への参加と活動の記録
 - (2) 頑張りを、すばらしさをPR(地域・他地域へ向け)
 - (3) 子どもたちへの指導
 - (1) 壁新聞(子ども会通信等)の作成(地域、学校、市連イベント等で掲示)
 - (4) 子ども会広報活動の知識を高める講習、研修会等への参加
 - (1) 子ども会活動(単位、地域)の広報(写真・新聞等)に関する知識、活動(子ども会(活動)の広報でもOK)から活動の様子を写真・動画・イラスト・文章等で発信する(活動写真、活動記録、活動報告等)
 - (2) 情報、資料の収集(広報誌の作成など)
 - (3) 研修大会への参加
- 子ども会の情報交換、関係団体との連絡・調整
 - (1) 子ども会の情報交換、関係団体との連絡・調整

○「子ども会活動って、何のためにあるの?」活動の意義・重要性とは?

★保護者や地域住民が「多様な地域資源」を活かし、大人も子どもも「学び・語り・支え合い」、【持続可能な教育のまち】を創造する。

※安全・安心な活動を優先としつつ、「コロナ社会」の今だから子どもたちを育てる意識をもつことが大切である。

- ①家庭・地域の役割と責任
 - 「子ども会活動」は、【多様な地域資源】(中高含む)との繋がりの中で、【自分の居場所(サードプレイス)】を作ったり、学校で『社会参加の第一歩』を行ったりする。
- ②多様な地域資源の活用
 - 様々な大人や異年齢関係にある青少年(中高含む)との繋がりの中で、【自分の居場所(サードプレイス)】を作ったり、学校で『社会参加の第一歩』を行ったりする。
- ③自分の居場所づくり
 - 様々な大人や異年齢関係にある青少年(中高含む)との繋がりの中で、【自分の居場所(サードプレイス)】を作ったり、学校で『社会参加の第一歩』を行ったりする。

子ども会活動の手引き

子ども会活動を支える

子ども会育成会員の皆様に向けて

～子ども会役員の1年間～

子ども会役員としての役割なあに？

「子ども会役員になると何をやるの？」役員を引き受けた時に、そんなことを思われた方は多いと思います。そこで、1年間のイメージを紹介します。

地域子ども会（主に校区）の役員と単位子ども会（主に町内）の役員では、役割が異なるので活動が変わってきます。また、地域によっては独自の活動を行っているところもあります。

以下に紹介しているのは、地域子ども会役員に関する1年間です。

1 岐阜市との関わり

（1）地域子ども会長としての岐阜市との関わり

- ① 会長会への参加
 - …年4回（4月、5月、9月、3月）
 - ※4月以外の会長会は、オンラインの参加も可です。
 - （ID、Passは、4月の会長会で案内します。）
- ② 子ども会表彰の推薦
 - …9月の会長会にて説明
- ③ 岐阜市子ども大会、研修大会への参加
- ④ 県、地区子ども会が主催の大会への参加

（2）地域子ども会の専門部会長（指導部長、安全部長、広報部長）としての岐阜市との関わり

- ① 各専門部会への参加 …4月
- ② 壁新聞の提出・引き取り ※広報部長
 - …1月に壁新聞展を行っています。
- ③ 岐阜市子ども大会、研修大会への参加
- ④ 県主催のKYT講習への参加 ※安全対策係

※（1）（2）の③、④については、時期が近づいたら各地域へご連絡をします。

・ご自身の地域の育成者へお声掛け、希望される方のとりまとめをお願いしています。

（役員が必ず参加する必要はありません）

<岐阜市と関わる役員の

1年間イメージ図>

	会長	専門部長	提出物	県地区の行事
4	会長会	専門部会	・口座振替 依頼書	
5	会長会		・予算書 ・計画書	
6	市子連研修大会			子ども大会 (岐阜県)
7				
8				
9	会長会		・地域子ども会 集計表	
10			・子ども会 推薦申込書	
11				
12				
1		壁新聞出品		KYT講習 (岐阜県)
2	岐阜市子ども大会			子ども大会 (岐阜地区)
3	会長会		・報告書 ・決算書 ・役員一覧表	

2 岐阜市内の各ブロックとの関わり

- ① ブロックフェスティバルの実施
- ② 各種会議・研修への参加



3 各地域における事業（活動や研修）の実施

- ① 岐阜市からの委託事業
 - ・子ども会活動、インリーダー研修、集団指導者講習会
- ② その他、各地域における独自の活動や会議（打合せ）など



※各ブロック、地域ごとに実施時期、実施回数が異なりますが、近年、会議や活動などの見直しが進み、負担が減ったという声が増えています。

コラム

<岐阜市、ブロック、地域、単位子ども会の違いはなあに？>

子ども会は全国に展開している組織です。そのため、岐阜市内には、「岐阜市子ども会」「各ブロック子ども会」「地域子ども会」「単位子ども会」という、それぞれの役割を持った子ども会があります。

(1) 岐阜市の子ども会（岐阜市子ども会育成連合会）

- ・各地域やブロックでは行うことができない活動を通して、子どもたちが地域での活動に自信や誇りを持つようになるとともに、自己肯定感や仲間を認め合える心を育むことを目的に活動を行っています。

(2) 各ブロックの子ども会（第〇ブロック子ども会育成連合会）

- ・近くの地域同士の子どもたちが一緒に活動をするを通して、子どもたちの知見を広げるとともに、物事の見方や考え方を広げたり深めたりすることを目的に活動を行っています。

(3) 各地域の子ども会（〇〇地域子ども会育成会）

- ・学校や家庭では行えない活動や研修から、学校や家庭では見ることのできない一面を仲間同士で感じ合うを通して、子どもたち同士のつながりをさらに広げたり、深めたりする場になります。また、子どもたちにとっては「地域デビュー」の場になります。ここでの体験1つ1つが家庭や地域の人たちを大切にすることを育みます。その積み重ねによって、子どもたちが大きくなった時に仲間や家庭、地域のために貢献できる人材となっていきます。

(4) 各地域内の単位子ども会（〇〇子ども会）

- ・一人ひとりの子どもが仲間と力を合わせて活動する最も身近な集団であり、子どもたちにとって親以外の身近な大人と出会う最初の場になることもあります。子どもたちは、ここで様々な人や考え方に出会い、生き方を広げていきます。



※育成者にとっては、単位子ども会役員が「地域デビュー」の場になると思われます。身近な地域の方と子ども会活動に関わる話題を通して、地域の子どもたちや地域にある地域資源のすばらしさを知ってくだされば幸いです。

子ども会活動の手引き

子ども会活動を支える

子ども会育成会員の皆様に向けて

～子ども会活動の主な内容～

子ども会活動とはどんな活動なの？

子ども会活動は「地域を基盤とした仲間との遊びや体験などの活動」が基本ですが、その上で「子どもたちの成長につながる活動」になることが望まれます。

子どもたちは、仲間と遊んだり、新しい体験をしたりすることが大好きで、活動を通して、新たな見方や考え方を獲得し、それを働かせてさらに次のステップに進んでいき、それが成長につながります。そこで大切なことは、目の前の子どもたちに必要だと思う活動を行うことです。「この活動は○、あの活動は×…」などと難しく考えずに、子どもたちが求める活動を一緒になって楽しんでください。



活動をつくるのは難しい、研修や講習はもっと難しい・・・

「遊びや体験などの活動は分かるけど、子どもの成長につながる活動って？」と思われる方もあるでしょう。ポイントは、「活動に目的がある」ことです。例えば、同じ活動でも、「リーダーとして年下の子と関わる」目的があれば、年下の子に声かけをすることでリーダー性が育っていきます。また、「子どもたちの交流をする」目的があれば、会議の中でお話する中で、子どもたちのことを知ることができ、今後の活動の仕方が見える立派な学びになります。

「本当にそうかなあ」と言われる方も多くいます。しかし、私たちが地域子ども会の活動の様子を参観させていただくと「前回会ったときと比べて成長したなあ。力を付けたなあ。」と思う子ばかりで、どの子もその子なりにきちんと力を付けています。

だからこそ、目的を持って子どもと一緒に活動をしていただきたいと願っています。

岐阜市でお願いをしている子ども会の活動

岐阜市教育委員会では、自分と仲間を大切にしながら、様々な活動の中で自己磨きすることを通して、よりよい未来を自ら創っていく子を育てていくことを目指しています。その具現のために、学校・家庭・地域が一緒になって様々な活動を行っていますが、特に、各地域において、自分と仲間を大切にしながら様々な体験活動を行っている各地域の子ども会に対して、「子ども会活動」「インリーダー研修」「集団指導者講習会」の3つを実施していただくよう、岐阜市子ども会育成連合会に依頼しています。

この3つを「岐阜市教育委員会からの『委託事業』」と呼んでいます。

「違いがよく分からない」「この活動はどれにあてはまるのか。」などの問い合わせもありますので、ここで違いについて簡単に紹介をします。

- | | |
|---------------|---------------------------|
| (1) 子ども会活動 | …異年齢の子どもたちが一緒になって行う子ども会活動 |
| (2) インリーダー研修会 | …子ども会のリーダーが集まって行う研修（活動） |
| (3) 集団指導者講習会 | …育成者（地域の大人）が集まって行う講習（活動） |

※それぞれが別の活動の時もあれば、3つが一体となって行う活動もあります。

◆次のページに3つの活動の例についていくつか紹介します。

コラム

< 岐阜市の委託事業「子ども会活動」、 「インリーダー研修会」、「集団指導者講習会」の違いは？ >

(1) 子ども会活動

子ども会活動は、地域子ども会の子どもの対象に、地域ならではの社会活動や文化活動、学習活動、生産活動等やスポーツ活動やレクリエーション活動等、体育活動を通して、子どもたちの育成につながる活動です。

とは言いますが、社会活動、文化活動、学習活動、生産活動、体育活動には様々な活動があります。

下に活動に当てはまる例を挙げてみました。みなさんの地域で行っている活動も参考にして、子どもたちと一緒にできる活動を考えて進めてください。

社会活動	…年中行事（クリスマス、七夕祭り、歓送迎会など）
文化活動	…音楽会、映画鑑賞、工作、バルーンアート
学習活動	…天体観測、読書、勉強会（SDGs など）、安全学習（KYT、応急手当）
生産活動	…農業体験、奉仕活動（清掃活動、福祉施設訪問など）
体育活動	…レクリエーションゲーム、ラジオ体操、リズムダンス、スポーツ大会



(2) インリーダー研修会

インリーダー研修会は、地域子ども会の子どもたちが、地域子ども会（単位子ども会）のリーダーとして活躍できるようになるために行う研修会のことです、子ども会活動と異なる部分は、「活動を通して、子どもたちの自主性、社会性、創造性を育むこと」です。

とは言いますが、「自主性、社会性、創造性を育む活動」は様々です。そこで、過去の育成者のみなさんが実践してきた研修会を紹介します。インリーダー研修会を実施する上で参考にしてください。

- ・災害時の動きを体験、防災デイキャンプ、消防署見学。
- ・農協と協力して餅米植え→稲刈りをして、餅つき、収穫祭
- ・知りたいこと、学びたいことを発見！→地域の〇〇工場見学
- ・3世代交流会として→敬老祝賀会用プレゼント（メッセージ）づくり
- ・秋の材料を集める秋見つけ→クリスマス会に向けてみんなでリース作り

また、研修会を進めるにあたり、年少指導者（シニアリーダーやジュニアリーダー）に来てもらって活動をしたり、講師の先生を呼んで研修をしたりすることもできます。



※令和6年度より、岐阜市教育委員会が主催の研修も実施します。

(3) 集団指導者講習会

集団指導者講習会は、地域子ども会の育成者が、互いのつながりを深めるとともに、子ども会組織や役割への理解を深めたり、子どもへ指導をする際に必要な技能を習得したり、安全管理で気をつけることを身につけたりするために行う講習会のことです。

下に、過去の育成者のみなさんが実践してきた研修会を紹介します。新型コロナウイルス感染症の影響でこの数年集まった研修を減らしている地域もあると聞いていますが、地域の子どもの成長には地域の大人のつながりは欠かせません。

- ・子どもの人権や現状を見つめ、考える「人権講話」「保護司講話」を講師の先生から学ぶ
- ・フェスティバルで子どもが作るおもちゃ作りを学ぶ「クラフト研修」をシニアリーダーと学ぶ
- ・地域のことを知るための「地域講座」を公民館の事業とコラボする
- ・子どもの健康に関する「親子の食育教室」などの話を保健センターの方から聞く

子ども会活動の手引き

子ども会活動を支える
子ども会育成会員の皆様に向けて
～子ども会活動を進める上で困った時は～

困った時は迷わず相談を

活動していく中で「子どもたちと活動の相談をしていたら、自分の得意なことでない活動をしたいと言われたがどうしよう」「意見が多くなりすぎて収拾がつかなくなった時はどうしたらいいか」「今回の活動は、自分たちが関わるより、もっと近い年齢のお兄さんお姉さんと活動した方がいいかも」など、困ったり、悩んだりすることが出てくることもあるでしょう。

そうした場合のために、子ども会活動を応援してくれる方がたくさんいらっしゃるので、是非相談をしてください。「相談したいことが分からない」ということもあるかもしれません。そうした時は、岐阜市子ども会育成連合会事務局（電話：214-2240）まで連絡してください。

また、「ちょっと気になる」「〇〇の時はどうしたらいいか。」という時は、過去の問い合わせを参考に作成した主な Q&A を参考にしてください。

目の前の子どもが違うため、対応方法は1つ1つ異なることが多いですが、たくさんお話をすることでいい方法が見つかることが多いです。一人で考え込まずに、思っていることをお話ください。

(1) 相談先を知りたい

相談内容		問い合わせ先	備考
近い年齢の子と一緒に活動をしたい! (ゲーム、バルーン、クラフトと一緒に楽しみたい! お兄さんお姉さんからゲームなどを学びたい!)	シニアリーダー(大学生等)やジュニアリーダー(中学・高校生)がサポートします。	市子連事務局 ☎214-2240 社会・青少年教育課 ☎214-2264	<ul style="list-style-type: none"> 2か月前までに連絡をしてください。1か月前を目安にサポートする人が決まり、担当者に連絡があります。 シニアリーダーには交通費や飲料など、ジュニアリーダーには飲料などの配慮をお願いします。
子どもたちが願う活動を教えて欲しい! (KYT、ラジオ体操などを学んで身に付けたい。先生からゲームなどを学びたい!)	特技を持った先生(特技技能講師)を紹介します。	子ども会事務局 ☎214-2240	<ul style="list-style-type: none"> 事務局が講師にアポ取りをします。 その後、講師の方と打ち合わせをしてください。(講師料、材料費が必要になります。)
工作やサイエンス、エンターテイメントの世界を味わいたい! (日頃できない、工作や理科実験、エンタメを体験したい!)	各青少年会館の「子ども会サポートプラン」を提案します。	各青少年会館 ☎232-1721 北青少年会館 ☎239-4011 青山青少年会館 ☎266-0566 中央青少年会館 ☎252-4150 青少年ルーム ☎246-5244 東青少年会館	<ul style="list-style-type: none"> 青少年会館が提供できる様々なプランをもとに打ち合わせをします。 プランによって、講師料や材料費が発生するものもあります。
講座、研修、子ども会活動の進め方を教えて欲しい! (大人対象の研修や講座、子どもの話合いの仕方、ゲームの教え方を指導してほしい!)	地域で行う講座や研修の指導やアドバイスなどに伺います。	市子連事務局 ☎214-2240 社会・青少年教育課 ☎214-2264	<ul style="list-style-type: none"> ご要望にお応えすべく、打ち合わせをしながら進めます。 ※インリーダー生への KYT、単位子ども会でのレクリエーション等の指導は行いません。

※困った時は、市子連事務局(214-2240)まで、お気軽にご相談をください。

(2) 主な Q&A を知りたい

Q1：子どもが少ないけど、活動って成り立つの？

A1：大人数には大人数のよさが、少人数には少人数のよさがあります。大人数だと同じ活動でも盛り上がりが見えるメリットがある一方、少人数の活動には、一人ひとりの願いが反映されやすいことや、一人ひとりの活動を見届けやすいメリットがあります。ぜひ子どもたちのアイデアを生かした活動を仕組みでみてください。



Q2：過去の資料を見ているけど、うまくいきそうにありません。

A2：過去の資料と全く同じようにやることは誰でも難しいことです。これまでの活動のよさを生かしつつ、あなたらしさを生かした活動が、子どもたちの幸せにつながります。

Q3：過去の資料を見ると私だけ仕事が多いけど、仕事を減らすことってできますか？

A3：岐阜市からお願いをしている活動は「子ども会活動」「インリーダー研修会」「集団指導者講習会」の3つです。岐阜市子ども会育成連合会からも、研修大会、岐阜市子ども大会に参加してほしいと依頼をしていますが、仕事に関する大きな取り決めはありません。そのため、その年ごとに仕事内容については見直していかれるとよいと思います。長く続いてきたよさも踏まえながら、時代に合った活動にしていく事をお勧めしています。

Q4：引継ぎを見ると、インリーダー研修は話し合いが難しいってあります。

A4：人それぞれ、得意分野と苦手分野は異なります。集団で話し合う時の司会をする経験はあまりないので、難しく感じる人は多いと思います。そうした時は、市子連事務局(214-2240)に相談をしてください。話し合いのファシリテーターの方法のアドバイスや、職員派遣の検討など一緒に進め方を考えさせていただきます。

Q5：子どもが子ども会活動中にけがをした時はどうしたらいいの？

A5：安全共済会に加入をしている際は、市子連事務局にご連絡をください。第一報報告書の提出など、具体的な手順や方法などについてご説明します。

Q6：「今日の活動に参加して、見ているだけでいいから。」 と言われたけど、それって意味あるのですか？

A6：活動の様子を見ていただくことで、子どもたちの成長を見届ける人が増えること、認めてあげる大人が増えること、緊急時に動ける人が増えること…など、メリットはたくさんです。誘われた時はぜひお子さんと一緒に参加をしてください。また、シニアリーダーなどが進める時は一緒にゲームやクラフト、バルーンアートなどにも参加してみてください。活動スキルの向上につながります。



Q7：過去の資料を見ているけど、会議の回数がとても多い気がします。減らすことはできますか。

A7：A3にもありましたが、仕事に関する大きな取り決めはありません。そのため、その年ごとに仕事内容については見直していかれるとよいと思います。長く続いてきたよさも踏まえながら、時代に合った活動にしていく事をお勧めしています。また、市子連でZoomアカウントを取得しているので、利用したい時は市子連事務局（214-2240）までお問い合わせください。

Q8：インリーダー研修の進め方がよく分かりません。過去の資料を見ても、進め方のイメージが付きません。

A8：その時は、市子連事務局（214-2240）までお尋ねください。お話を聞きながら一緒に考えさせていただきます。また、地域の会議などにお伺いして一緒に考えることもいたします。また、令和6年度からは、岐阜市教育委員会が主催する研修も行います。基礎的な研修ですが、よろしければご参加ください。

Q9：シニアリーダーやジュニアリーダーはどんなことをしてくれるのですか？

A9：令和5年度の実績では、レクリエーションやバルーンアート、クラフト制作の指導のサポートを行いました。学生ボランティアのため、あくまでもサポートにはなりますが、依頼された方から、「シニアリーダーから打合せの連絡がありました。不安なこともありましたが、シニアリーダーにお話をし打合せをさせてもらったことで、私たちが願う活動にすることができた。」というお話も聞いております。



打合せや相談を重ねることで活動のイメージが明確になっていきます。地域で活動を相談している時に、悩み事などが出てきましたら、市子連事務局（214-2240）までご相談をいただくとよいかと思えます。

Q10：社会・青少年教育課の職員って誰ですか？また、社会・青少年教育課の職員が来てもらうとどんなことをしてもらえますか？

A10：岐阜市教育委員会の社会・青少年教育課に所属している職員のことです。子ども会の担当をしている職員や、子ども会事務局を担当している社会教育指導員、各青少年会館で市民会議等地域の青少年の健全育成に携わっている社会教育指導員です。令和5年度は、集団指導者講習会での指導や、インリーダー研修でのあいさつ、子どもたちがレクリエーション指導をできるようにするための指導・援助、インリーダー研修の計画、子ども会の活動報告のお手伝いやeggの取材などを行いました。



Q11：子ども会に加入をしたい時は、どこに聞くといいの？

A11：まずは、近くで子ども会に加入をしている人に尋ねてみてください。ご連絡をする先が分かると思います。また、市子連事務局（214-2240）にお問い合わせいただくと、その地域の方をご紹介します。

※その際はお時間をいただくこと、ご連絡先をお聞きすることをご承知おきください。

子ども会活動の手引き

子ども会活動を支える

子ども会育成会員の皆様に向けて

～参考資料__実践集1 インリーダー研修の進め方～

はじめに～地域にリーダーが必要なわけ～

社会の仕組みが変わる中で、子どもの育成には、学校・家庭・地域の連携、協力がますます重要になっています。その中で、地域の働きの大切だと言われております。また、地域で災害や避難を経験した方から、「小学生リーダーが地域の小さい子にゲームなどをしてくれて、とても助かった。」という話も聞いています。

一方で、「どのように地域のリーダーを育てるか分からない。不安だ。」という声もいただいています。そこで、地域のリーダー育成のお助けになればと思い、資料を作成しました。



インリーダー研修会のねらい～地域のリーダー像って？～

インリーダー研修会を進める上で、大切なことは、地域のリーダー像を明確にすることです。地域の実態によって変わってくると思いますが、全般として次のような姿が考えられます。

＜リーダーとして大切にしたい姿（一例）＞

- 自ら**進んで活動**する姿 (自主性)
- 仲間と共に**折り合って活動**する姿 (社会性)
- みんなで**チャレンジした成果を喜び合う**姿 (創造性)



このような姿にするために、研修の中には、自ら、仲間と一緒に活動する場面、成果を他者（相手）に伝える場を組み込むことを入れることをすすめています。

インリーダー研修会の進め方～実際にどう進めるといいの？～

研修を進める上で考えたいことは、大きく2つ（1年間の大きな動き、1回の流れ）があります。

1 1年間の活動を決めましょう

＜活動の考え方＞

★地域でやるべきこと + 子どもたちがやりたいこと + 育成者ができること

○地域でやるべきことで、成果を喜び合ったり伝えたりする場を取り入れましょう。

○子どもたちがやりたいことで、自ら、仲間と一緒に活動する場面を取り入れましょう。

- 子どもに聞くことで、活動のヒントや内容が見えてくるので、たくさん相談することをすすめていますが、育成者の皆様ができないことは「今年はやれないよ!」とはっきりと言いましょ。
- 育成者で指導が難しい時は、サポートを依頼しましょ。
(シニアリーダー、ジュニアリーダー、特技指導講師、子ども会事務局・市子連役員等)
- 令和6年度は、基礎的なリーダー研修やレクリエーション・クラフト・グループワークに関する研修を社会・青少年教育課が主催して各ブロックでも行います。



2 1回の活動を決めましょう

<活動の考え方>

★めあて + 活動内容 + 役割分担（子どもたちに任せる）

- 活動のめあてがあると、子どもたちは仲間と相談しながら主体的に活動できます。
- 大人がやりたくなることも出てきますが、ぐっとこらえて子どもに任せることも大切です。

- ・活動の終わりに、「次の会は、〇〇だけどうやってやる？」「誰が司会する？」などと聞くことで、子どもたちも活動の見通しが持てます。また、活動の最初に役割分担をしてから始めるのも1つです。

例：みんなと楽しく歓送迎会（お楽しみ会）をしよう

- めあて：卒業生や新入生のあいさつを聞いたり、みんなでゲームしたりすることを通して、卒業生へ感謝の気持ちや新入生と仲良くしたいという気持ちを持つことができる。

【事前準備】

- ①買い出し（お菓子等）（前日までに） 子どもと一緒にいくと、当日楽しみ度アップ！
- ②プログラム書き（当日の朝でも可） メモの通りに書くだけでもOK
- ③役割分担（当日の朝でも可） 全体進行、ゲーム進行、あいさつ（始め、終わり）

【当日の運営】

（1）準備・・・リーダーは30分前集合準備にするとスムーズにできます。

○役割分担、机移動、プログラム書き、整列方法の確認、受付補助

（2）進行・・・子どもたちが頑張る姿を見届けましょう。

①始めの言葉 「これから〇〇を始めます。今日は〇〇がめあてです。めあてを大切にしながら、みんな楽しくがんばりましょう。」

②あいさつ

- ・卒業生や新入生のお話を聞く。
- 例：卒業生は、これまでの振り返りを語る。
- 新入生は、名前とよろしくお願いします。

③ゲーム

- ・時間に応じてゲームをする。

ゲームのポイントは【実践集2 レクリエーションの進め方】をご覧ください。

④プレゼント配り

- ・配り方も工夫しよう。

例：新入生から順番に…、王様ジャンケンをしながら…、など

⑤終わりの言葉 「今日は〇〇がめあてでした。私は、〇〇さんからの話を聞いて、4月から6年生なのでリーダーとして、新しく1年生になる子と一緒に頑張ろうと思いました。また、〇〇さんから～してもらえてうれしかったです。これからも一緒にがんばりましょう。これで〇〇を終わります。」

（3）片付け、振り返り・・・できることは子どもにやってもらいましょう。

○片付けまでが仕事。がんばった子はいっぱい褒めましょう。

- ・子どもが帰る前に、育成者の話で、たくさん褒めて終わらしましょう。
- ・振り返りができる時は、できたこと、次がんばることを話してもらいましょう。

子ども会活動の手引き

子ども会活動を支える

子ども会育成会員の皆様に向けて

～参考資料__実践集2 レクリエーションの行い方～

はじめに～地域活動でレクリエーション・ゲームが必要なわけ～

レクリエーション・ゲームは、特別な道具を必要としないで行えるものが多いため、いつでも簡単に行うことができることが特徴です。そのため、有事の際において「電源等が使えない」「遊具等が壊れて使えない」時であっても子どもたち同士で遊ぶことができるよさがあります。だからこそ、レクリエーション・ゲームを子どもたち同士で行えることが、地域においてとても大切だと考えられています。

一方で、レクリエーション・ゲームを行う機会が減っているため、子どもたちに聞いても「よく分からない」「やったことがない」「どうやっていいか分からない」と答える子も多くいます。

そこで、レクリエーション・ゲームを子ども会活動の1コマに入れていただきながら、活動が有意義になることを願い、ポイントを紹介させていただきました。地域の活動の参考にさせていただけるとありがたいです。



また、令和6年度より、社会・青少年教育課が主催するインリーダー研修会内で、レクリエーション研修を行います。子どもたちとレクリエーション・ゲームを行っていきませんが、進め方などをご覧ください。よろしければお子さんと一緒にご参加ください。



レクリエーション・ゲームの基本的な考え方～

レクリエーション・ゲームは言葉や動作を使って進めます。そのため、同じゲームでも進め方によって楽しさが変わります。大きなポイントは次のとおりです。

- 1 笑顔で、ゆっくり、大きな声で話そう！
 - ・「ゆっくり過ぎるかな？」でちょうどよいです。（特にマイクを使う時はなおさらです。）
 - ・余裕ができたなら、確認しながら進めてみましょう。
- 2 ゲーム説明は短く、メリハリをつけよう。
 - ・長いゲームは飽きてきます。5分×1回戦よりも3分×2回戦の方が、集中できます。
- 3 慣れるまでは、進行役は2～3人で進めよう。
 - ・複数のゲームを1人で進めるのは、難しいものです。最初のうちは、1つのゲームを1人ずつ進め、他の人はサポートに回るとうまく進みます。
- 4 騒がしくなってきたら一工夫。
 - ・騒がしい時は集中力が切れてきたときです。簡単にできるゲームにしたり、小さい声で話したりなど工夫をしましょう。思い切って休憩にするのも1つの手です。



レクリエーション・ゲームの基本的な進め方

1 ゲームの展開（1つのゲームで）

- ゲームの基本は、「静→動→クールダウン」です。以下のポイントを参考にしてみてください。

＜進め方のポイント＞

- ① ゲーム説明は、黙って最後まで聞く。質問タイムもあってよい。
- ② 相手がいる遊びは、「よろしく！」のあいさつ（握手）から。
- ③ かけ声は、みんなで言いましょ。特に、勝負事は、大きな声で！
- ④ ゲームが終わったら、「ありがとう」とお礼や握手！
- ⑤ 最後進行役が「終わります。」と言ったら、みんなで拍手！

※進行役は「分からない」や「食い違い」があると思ったら、止めて確認しましょう。

2 ゲームの展開（2つ以上のゲームで）

- ゲームを進める時に流れがあると、より楽しく感じます。例を参考に流れを作ってみよう。

＜流れの作り方1＞

- 起承転結、「静→動→クールダウン」を考える
(小さな動き→大きな動きのゲームへ、そして最後は集まってできるゲームへ。)

＜流れの作り方：似たゲームを広げていくための方法＞

- 二人組から自然な形で人数を増やす (隣のペアと一緒に4人でやろう)
- 動きが少ないものから大きいものへ (もっと大きい動きができるかな)
- 少しずつルールを難しく (やること増えたけどできるかな)
- グループの一体感を広げる (みんなで相談しよう)

※流れを作る上で、人との関わりは欠かせません。

- 友達を誘ったり、一緒に活動したりする姿は大いに褒め、その姿を広げましょう。
- ゲームは失敗してもOK！失敗も認め合える声かけをしましょう。

「あなたがいたから、ゲームが成り立つね」「あなたのおかげで、楽しいゲームになったね」など

レクリエーション・ゲームの実際

レクリエーション・ゲームは、いろいろ理論があるけど「習うより、慣れよ！」です。

簡単にできるゲームをたくさんやることで、自信と実力がついてきます。おすすめを以下に紹介します。

○ おすすめのレクリエーション・ゲーム

(1) じゃんけんゲーム

① 元気じゃんけん

- 2人組を作ってじゃんけんをします。
- 勝った人、負けた人を聞くので返事をしてください。
※「勝った人」→「はーい！」→「負けた人」→「はーい！」
- 声の大きい方の勝ち！声小さかった負けチームの人が何かをする。
※「今は、負けた方の声が大きかったので負けた人の勝ちです。勝った人は負けた人に〇〇してください。」
- 【〇〇してください。】の部分を変えながら、繰り返しやるとだんだん声が大きくなる。
- 両方の声が同じくらいになったところで終了。
※「みんな元気になったのでこれで終わります。」



② 足開きじゃんけん

- ・〇人組を作ってじゃんけんをします。※人数は2～4人くらい
- ・じゃんけんに負けたら、〇〇1つ分足を開きます。
※〇〇は、「握りこぶし」「頭」など変えることができる。
- ・これを繰り返して手をついてしまったら負けです。



③ 命令じゃんけん

- ・〇人組を作ってじゃんけんをします。※人数は2～4人くらい
- ・じゃんけんに勝ったら負けた人に、「A～C」と命令ができます。
※例：A：足曲げ5回 B：ジャンプ5回 C：首を3回回す（A～Cは変更可）
- ・では、始めましょう。

④ 相談じゃんけん

- ・〇人組を作って座ります。※人数は4人～8人くらい
- ・10秒の間に、進行役の私に勝つように、みんなで相談して同じものを出してください。
- ・みんなが同じものを出して、私に勝ったら1点です。何回か繰り返して一番得点の多いグループの勝ちです。

⑤ 関所じゃんけん

- ・4～8人程度で3グループ以上作り、一列に並びます。
- ・代表者を作り、自分の列以外の前に立ち、門番になります。（2m以上は離れるとよい）
- ・「よーい、ドン！」の合図で、列の先頭の人門番とじゃんけん。勝ったらガッツポーズで列の一番後ろに（ハイタッチをしながら）回り、2番目の人と交代。負けたら、みんなに「ごめんなさい」をし、全員で門番を一周。再び先頭の人門番とじゃんけん。
- ・これを繰り返し、全員が門番に勝てたチームの勝ち

(2) じゃんけんのルールを活用したゲーム

① 清正じゃんけん（動作を使ったじゃんけん）

- ・侍、おばあさん、虎の3人が登場するじゃんけんです。
- ・侍は虎に勝って、おばあさんに負ける。おばあさんは侍に勝って、虎に負ける。虎はおばあさんに勝って、侍に負けるルールです。
- ・じゃんけんポンの「ポン」のタイミングで、3人のポーズを取ります。
例：侍は刀を持つ、おばあさんは杖をつく、虎は襲い掛かる…など分かるポーズをします。
- ・勝った人が1ポイントです。これを繰り返して、たくさんポイントを取った人の勝ちです。（王様じゃんけん、ペアじゃんけん、勝ち抜き戦などいろいろできる。）

② 餃子じゃんけん（あいこを楽しむじゃんけん）

- ・餃子の皮、餃子の具、箸の3つが登場します。餃子の皮がパー、餃子の具がグー、箸がチョキとします。
- ・スタートの合図で3人組を作って「ぎょうざ！」の掛け声とともにじゃんけんをします。
- ・パー、グー、チョキのあいこになっていれば、餃子が完成し、食べられるので1ポイント、その他では、餃子が完成しても食べられないので0ポイントです。
※餃子が完成した時は「いただきます。」、1つ足りない時は、「〇〇がない!」、みんな同じ場合は、「〇〇しかない!」と3人で言うと盛り上がりよいためぜひやってください。
- ・じゃんけんが終わったら、また別の3人組を作って、「ぎょうざ！」の掛け声とともにじゃんけんを行う。これを繰り返し、制限時間の中でたくさんのポイントを取ってください。

(3) 1つのゲームで、2つのことができるゲーム

① シャッターチャンス（交差拍手）

- ・進行係が横向きになり両手を前に出す。（背の順で「前ならえ」をする時の出し方）
 - ・進行係が両手を交差させる。その時、両手が重なったタイミングで拍手をする。
※一度試す。（みんなができるか確認。）
 - ・これを何回か繰り返す。
※最初はみんなが拍手できるところで止める。慣れてきたら思わず拍手してしまうところで止めると盛り上がる
- ★みんなが叩いた拍手の回数で集まる、「人数集まりゲーム」にもなる。

(4) 動きがあり人気のゲーム

① ガッチャン

- ・横1列に並んだ3人組をたくさん作る（場所は、ばらばらに座る）
- ・1人が鬼役になり1人が逃げ役
- ・逃げ役がどこかの3人組の端に、大きな声で「ガッチャン」と言って座ったらセーフ。反対側の端の子がはじかれ、その子が逃げ役に
- ・逃げ役が、また「ガッチャン」とどこかに座ればセーフ
- ・鬼が逃げ役をタッチしたら、鬼役と逃げ役が交代

② 木の中のリス

- ・横1列に並んだ3人組をたくさん作る（場所はばらばらで立っている）
- ・「木」2人と「リス」1人をきめる→「木」同志が両手を組んで中に「リス」が入る
- ・1人が鬼役になる。
- ・鬼役以外の子が「来～たぞ、来たぞ！何が来た？」と鬼役に聞く。
- ・鬼役はA：木こり、B：オオカミ、C：嵐のいずれかを言う。
A…手を組んでいる「木」がバラバラになり、リスのところで両手を組み「木」になる。
B…木の中にいる「リス」が、別の木の中に入る。
C…新たに、3人組を作り「木」役と「リス」役を作る
- ・鬼役の人は、移動の間に紛れる。すると別の人が鬼役になる。

③ 四つ角

- ・1人が鬼役になる。（残りは逃げ役）
- ・鬼役が、目を閉じ10秒数える間に、逃げ役は部屋の4つ角のどこかへ移動する。
- ・10秒後、鬼役が4つ角のどこかを指さし、指をさされた所にいる逃げ役は負け
※指さされた所の人鬼役の回りに集まる。
- ・これを繰り返し、最後まで残った人の勝ち
※逃げ役は音を立てずに逃げる、鬼役の回りに集まった人は、逃げ役を助けるために、両手で床を叩くと面白い



(5) 隊形を変えるゲーム

① パースデー・リング（円になるために）

- ・1月1日の位置を決める
- ・話をせず、声も出さず動作だけで誕生日を伝え合い、時計回りで輪になっていく
- ・輪になれたところで座って、順に誕生日を声に出して言っていく→全員正解したら拍手

② 〇人抜きじゃんけん（一列 or 円になるために）

- ・誰でもよいので、〇人に勝ったら、私の前に1列に並んでください。
※〇人は、3人以上がよい。※「私の左側から時計回りで円になってください。」とすれば円を作るゲームになる。

子ども会活動の手引き

子ども会活動を支える

子ども会育成会員の皆様に向けて

～参考資料__実践集3 シニア・ジュニアリーダーを呼んだ時の実践例～

シニアリーダー・ジュニアリーダーのサポートリクエストって？

「去年の育成者の方から、シニアリーダーの活動サポートがよかったから、今年もお願いしたい。」とシニアリーダーやジュニアリーダーのサポートを希望する方が多くありました。

シニアリーダーやジュニアリーダーと一緒に活動するよさは、大きく3つあります。

1. シニア・ジュニアリーダーは、子どもたちと年齢が近く、親しみやすい。
2. 地域からの依頼を想定し、シニア・ジュニアリーダーは研修を積んでいる。
3. 一生懸命活動するシニア・ジュニアリーダーの姿から、活動以上のものを学ぶことができる。

そのため、子ども会活動の後「依頼して本当に良かった。」と言われる育成者がたくさんいます。

そうしたよさを、多くの方に知って欲しいと願い、実践例を作成しました。

ご覧いただくことで参考にさせていただければと思います。また、「シニアリーダーとジュニアリーダーを呼んだ方がいいか。シニアリーダーだけの方がいいか。」「シニアリーダーと社会・青少年教育課職員とどちらに依頼するか悩んでいる。」など活動を進めていく上で悩まれた時は、子ども会事務局(214-2240)まで、お問い合わせください。

実践例1：インリーダーに対する活動のサポート～

<依頼の内容：2か月前までに連絡をします。>

来月に、インリーダー研修でレクリエーションとバルーンアートをしたいと思っている。小学生が楽しめるように1時間半程体育館でやって欲しい。

<シニアリーダーの準備：1か月前～2週間前までには連絡をします。>

- ・担当の育成者さんと具体的な打合せ。
 - ※人数、学年、場所、必要なもの、気をつける点など
 - ・活動によって育成者様に用意していただくものがあります。
例：バルーンアートでは、ポンプはシニアで用意しますが、バルーンは用意してください。
- ・いただいた時間の中で、活動内容を決める。
例：前半40分バルーンアート、10分休憩後、40分レクリエーション
- ・活動内容の中での展開を決める
 - ・バルーンアート（簡単なもの→少し難しいものへ）
 - ・レクリエーション（導入→徐々に盛り上げて、最後クールダウン）

<当日の進行>

- ・時間30分前に、会場に行き、最終打合せ。
- ・当日のサポート（打合せをした活動、今回だとバルーンアート→レクリエーションを実施）

子ども会活動の手引き

子ども会活動を支える

子ども会育成会員の皆様に向けて

～参考資料__実践集4 社会・青少年教育課職員を呼んだ時の実践例～

社会・青少年教育課の職員を来てもらうとどうなるの？～

社会・青少年教育課の職員として、地域を訪れたり、電話でお話を聞いたりすると「『引き継ぎの文書を見ると集団指導者講習会の時に、社会・青少年教育課の人を呼ぶ』と書いてあるけど、その手順が分からない」「土曜日はお休みなのに、本当に呼んでも大丈夫なのか」という声を多く聞きます。

そこで、皆様に少しでもイメージを持っていただけたらと願い、実践例を作成しました。

ご覧いただくことで参考にさせていただければと思います。また、「〇〇の時は、どうしたらよいか。」など、活動に関わる相談の中で職員派遣のお話をすることもできますので、活動を進めていく上で、悩まれた時は、子ども会事務局（214-2240）まで、お問い合わせください。

実践例1：インリーダーに対するレクリエーションの実践的な指導～

< 依頼の内容 >

来月に、ブロックフェスティバルでレクリエーション・ゲームを紹介することになった。しかし、子どもたち自身がレクリエーションを知らないので紹介をして欲しい。また、自分たちでフェスティバル当日に行うゲームを決め、当日実際に進行できるようにして欲しい。

< 社会・青少年教育課での前日までの準備 >

- ・フェスティバル当日に行う、盛り上がりそうなゲーム（1時間分）を用意。
※ゲームA→ゲームB→ゲームC→ゲームD→ゲームE
 - ・ゲームA：緊張をほぐすゲーム
 - ・ゲームB：自己紹介のゲーム
 - ・ゲームC：グループ分けのゲーム
 - ・ゲームD：グループで仲良くなれるゲーム
 - ・ゲームE：グループ対抗のゲーム
- ・自分たちで決められるよう、ゲームA～Eを各2種類ずつ用意
- ・当日の流れを決める。（お試しゲーム→ゲーム決め→ゲーム係決め→係ごとに練習）
- ・当日の進め方について、育成者の方（担当になった方）と相談。
- ・当日配布する資料の印刷（ゲームのシナリオなど）

< 当日の進行 >

- ・時間20分ほど前に、会場に行き、最終打合せ。
- ・当日の指導（ねらいの確認→お試しゲーム→ゲーム係決め→係ごとに練習）

実践例2:インリーダーの活動計画を話し合う指導～

<依頼の内容>

後期のインリーダー研修の内容を決めたい。子どもはたくさんアイデアを持っているが、それを上手にまとめられるかが不安である。そこで、1時間で話し合いの司会をお願いしたい。

<社会・青少年教育課での前日までの準備>

- ・育成者の方（担当になった方）と相談（今後、何回活動があるか、1回は何時間程度か…など）
- ・基本の話し合いの方法を固め、育成者の方に伝える。
 - ※意見を出し合う→意見を比べる（合わせる・分ける）→内容を決定する。
 - ※子どもたちに「活動内容と活動への願い」を語れるように願います。
- ・話し合いが進めやすいように、小道具を準備する。
 - ※付箋（大3色）、鉛筆、ホワイトボードマーカー（3色）
 - 話し合いの進め方（拡大図）

<当日の進行>

- ・時間 20分ほど前に、会場に行き、最終打合せ。
- ・当日の指導
 - 1 ねらいの確認
 - 2 意見を出し合う（付箋に書く）
 - 3 意見を比べる（内容ごとにまとめる）
 - 4 意見をまとめる（インリーダーみんなが納得する活動にする）

実践例3:集団指導者講習会で子ども会についての講話～

<依頼の内容>

新しい年に役員になられた方に、「子ども会」について30分程度で話をして欲しい。

<社会・青少年教育課での前日までの準備>

- ・育成者の方（担当になった方）と相談
 - ※話の方向性、重点の打合せ（例：子ども会の意義、活動のヒント、具体的な進め方等）
- ・基本の話し合いの方法を固め、育成者の方に伝える。
 - ※例：子ども会の意義は端的に、活動のヒントは多めに、そして育成者の方に「子ども会＝楽しい」と思ってもらいたい
- ・当日話ができるように資料の作成
 - ※「要点をまとめたレジュメ」と「子ども会活動の手引き」

<当日の進行>

- ・時間 20分ほど前に、会場に行き、最終打合せ。
- ・当日の講話（相談して、決めた話の内容についての講話）

子ども会活動の手引き

子ども会活動を支える

子ども会育成会員の皆様に向けて

～参考資料__実践集5 集団指導者講習会講師・特技指導講師を呼んだ時の実践例～

集団指導者講習会講師・特技指導講師って？

「去年の育成者の方から、『特技指導の〇〇先生をお願いするといいいよ』って言われたけど、どんな方ですか」というお問い合わせがあります。

特技技能講師とは、子ども会活動やインリーダー研修、集団指導者講習会を進めていく上で活動や指導のノウハウなどの特技技能を持っている先生方のことです。

この特技技能を持つ先生からと活動をするよさは、大きく3つあります。

1. 育成者、シニアリーダー、社会・青少年教育課職員にはないスキルを持っている。
2. 子ども会活動における指導に長年携わっている方が多く、指導力が高い。
3. 分かりやすく教えてもらえるので、教わったことを他の場所で生かしやすい。

そのため、活動後には「依頼して本当に良かった。来年に引き継ぎます。」と言われる育成者がたくさんいます。そうしたよさを、多くの方に知って欲しいと願い、実践例を作成しました。

ご覧いただくことで参考にさせていただければと思います。また、いろいろなサポートがあるけれど、誰を講師とするか悩まれた時などは、子ども会事務局（214-2240）まで、お問い合わせください。

実践例1：特技指導講師の先生の指導

(1)まずは市子連事務局(214-2240)へ電話

「6月〇日の●時から、▲▲でKYT講習を行いたいが、特技指導の先生をお願いしたい。」

※連絡があると、市子連事務局から特技指導講師の方にご連絡をして、アポを取ります。

市子連事務局から結果について連絡があります。OKの時は、特技技能講師の方の連絡先をお伝えします。

(2)特技技能講師へ依頼の電話をする。

※連絡先は市子連事務局が伝えます。育成者の〇〇さんから連絡がある事も伝えます。

<打ち合わせる内容>

◎日にち、時間、人数、学年、場所、駐車場の有無、必要なもの、気をつける点、**費用**など

- ・活動によって育成者様に用意していただくものがあります。
- ・特技技能講師は、講師料が発生します。費用についても打ち合わせてください。

※打合せの内容を基に、特技技能講師の先生は当日の内容を決め、活動準備をします。

(講師によっては、その後の打合せをすることがあります。)

<当日の進行>

- ・打合せした時刻に到着されるので、最終打合せをします。
- ・時間になると、特技指導講師の先生の講座（活動）が始まります。